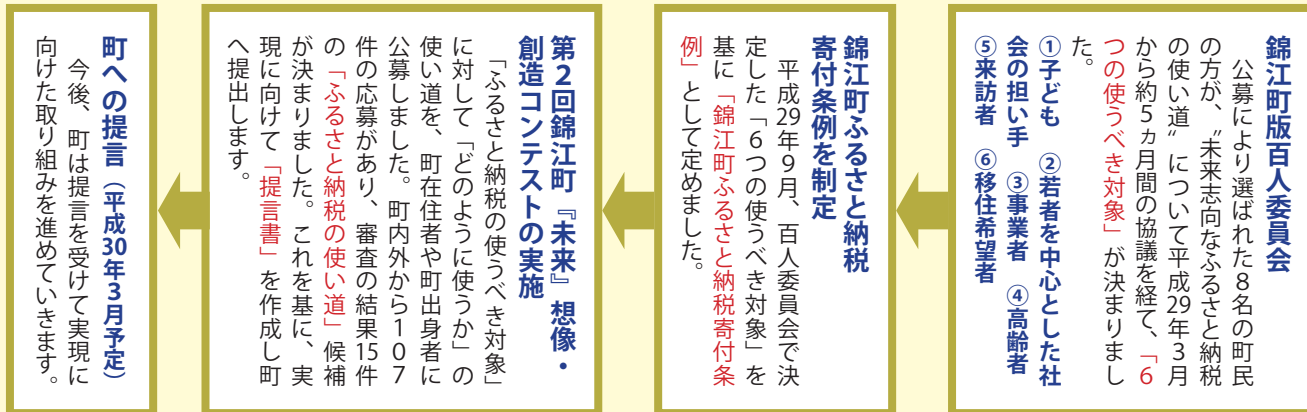


『未来志向なふるさと納税の使い道を考える』これまでの歩み



最優秀賞（40歳～64歳の部）

『未来を作る 子どもたちの都会と地方の教育格差をなくし 先端型の教育改革を!』

●使うべき対象 「子ども」
●提案した理由
現在の授業のやり方をITを利用しすこし変えていくことで、今後の課題先進国である日本を支える優秀な人材の輩出に貢献でき、錦江町で子育てしたくなるという評判の町にできるのでは。

●期待する成果
子どもたちの学力向上+人生に必要なスキル取得、先生の労働負荷軽減。長期的にみれば、その子どもたちの一部が町を支える人財になってくれることが期待される。

●いま自分がやるべきこと
提案内容自体を推進するためにはコスト面や現場面で様々な方にご理解をいただく必要がある。共有（勉強会）みたいなことで検討するようなことは可能かとおもいます。

上原 友和さん（錦江町出身・東京都在住）

最優秀賞（19歳～39歳の部）

『安心して子育てができるまちづくり。遠隔診療など身近な小児科相談所を』

●使うべき対象 「子ども」
●提案した理由
子育てするうえでは、地域にかりつけの小児科の先生がいてくれるということがとても心強い存在になってくれます。しかし、小児科の先生に移住していただくことは難しいかもしれないので、遠隔診療などでちょっとしたことでも身近で気軽に相談できる仕組みがあれば、とても安心して子育てができると思います。

●期待する成果
・子どもたちの急な体調変化などに対応してもらえる。
・子育て世代にとって、安心感が得られる。
・子育て世代の移住や定住にもつながる。

●いま自分がやるべきこと
・医療以外にも子育てしやすい環境を自分達でもつくる。（ママ友サークルなど）
・子どもたちに地域のことを好きになってもらう。

小松 奈都子さん（昇陽自治会）

- 西中川 響さん（錦江中3年）
提案「来訪者」 〓空き家をリフオーミングして、宿泊施設などに変える。
- 優秀賞（19～39歳の部）
時吉 健二さん（昇陽自治会）
提案「子ども」 〓知恵が詰まった場所を整備し、子どもや若者に学びの機会を提供する。
- 今村 学さん（馬場自治会）
提案「子ども」 〓町内の学生向け（小学生～高校生まで）の無料塾
- 優秀賞（40～64歳の部）
船迫小百合さん
提案「子ども」 〓保育サポート制度の設立。（自宅での預かり、病院付添い、買い物サポート、兄弟送迎など）
- 濱田 隆介さん（昇陽自治会）
提案「事業者」 〓本土最南端のワイン葡萄の栽培
- 優秀賞（65歳以上の部）
前田 正人さん（上原自治会）
提案「高齢者」 〓交流人口の源である宿泊施設を、当町の最大の資源である高齢者と空き家をマッチングさせて他に例を見ないものを作る。
- 徳永 豊さん（皆倉自治会）
提案「子ども」「若者」「事業者」「高齢者」「来訪者」 〓錦江町の美しい素晴らしい自然、この感動を多くの方に伝え、世界自然遺産に登録されるようPR活動を行うことを目的に写真コンクールを開催。